

平成28年度 第2回 柳川みやま在宅医療介護連携推進研修会 参加者アンケート結果

(開催日時) 平成29年1月12日(木) 19:00~20:30

(開催場所) 医療法人 弘恵会 ヨコクラ病院

○ 参加者数 : 78 名
○ アンケート回収数 : 59名
(回収率 : 76%)

(内容)

事例検討

1)「自己決定～独居高齢者の在宅支援～」 医療法人 弘恵会 ヨコクラ病院 地域連携室 西田 菜美

(1・2)回答者の内訳

職種	所属	病院	診療所	歯科診療所	薬局	訪問看護 ステーション	居宅介護 支援事業所	特別養護老人ホーム	養護老人ホーム	行政機関 地域包括支援センター	その他	無回答	計
医 師		2	5										7
歯科医師				9									9
薬 剤 師					9								9
看 護 師		2				5							7
保 健 師										3			3
社会福祉士		5											5
リハビリスタッフ						1							1
介護支援専門員							12	1					13
事 務										1			1
歯科衛生士				2									2
その他								1	1				2
計		9	5	11	9	6	12	2	1	4	0	0	59

(3)本日の研修会はいかがでしたか。

- ① 大変参考になった 30名(51%) ② 参考になった 26名(44%)
③ どちらでもない 0名 ④ あまり参考にならなかった 0名
(無回答) 3名(5%)

(4-1)本日の研修会で、良かった点についてお聞かせ下さい。

(医師)

- ・ 他の職種の意見が聞いて良かった。／多職種の考え方がわかった。／各職種の方と話が出来て勉強になった。
- ・ 意見がたくさん出たこと。
- ・ 進行がスムーズであった。
- ・ 検討事項がはっきりしていた。
- ・ 多職種の人達との顔見せ並びに意見交換が出来る点が良い。
- ・ 様々なご意見をいただき、色々な方面から意見を聞くことができた。

(歯科医師)

- ・ 柳川・みやま地区の具体的な説明を、松尾先生が説明して頂き、これから進んでいくべき方向がわかりよかった。
- ・ 他職種の方の色々な意見が聞けた。
- ・ 初めての参加なので、これからもどんどん開催してください。
- ・ 多くの方、職種の方が参加され、グループワークも盛んに行われ、積極的でよかったと思う。
- ・ 事例対象者の身体的な情報がもう少し細かく欲しかった。マヒの状態、認知症の有無、口腔内の状態など。
- ・ 勉強になりました。

(薬剤師)

- ・ 他職種の方々と話し合うことができて良かった。
- ・ 事例が詳しく書かれており、患者を取り巻く状況がわかり易かった。
- ・ グループワークで他職種の方と意見交換できて勉強になった。
- ・ 役決めがスムーズだった。／先にファシリテーターを決めていたのが良かった。
- ・ 独居高齢者の抱える問題点を多く理解することができた。
- ・ 自分の立場で何が出来るかを考え、他の職種の方との連携をどんな感じで行えるかを考えることが出来た。
- ・ 多職種で話し合い、新たな発見があり非常に有意義でした。

(看護師)

- ・ ファシリテーターを事前に決めていたのが良かった。
- ・ 様々な職種の方との意見交換が出来てよかった。／色々な意見が聞けて良かった。
- ・ 他職種で対応できる内容が知れて良かった。
- ・ それぞれの立場での意見や支援を知ることができた。
- ・ 現行以外のサービスの必要性が見えてきた。他職種間の連絡・連携が重要である。
- ・ スライドが大きく見えたのが良かった。(サブスクリーンに映し出していたのがよかった。)
- ・ 生活保護、身寄りがない難しいケースでしたが、それぞれの職種からの関わり、視点が知れて良かった。
- ・ 事例をもって、資源活用の方法や視点が広がり勉強することができた。

(保健師)

- ・ グループワークを2つの視点で話し合いが出来た事はとてもよかった。時間的にもちょうどよく、楽しくグループワークができた。
- ・ ミニケア会議が体験できて、他職種の仕事ぶりが理解できた。
- ・ 他職種のサービス、支援内容を確認できた。

(歯科衛生士)

- ・ それぞれの職種で、何が出来るかのできる限りの支援の方法を聞いて大変参考になりました。
- ・ 少しずつ発言内容が具体的になってきたように感じました。

(社会福祉士／ソーシャルワーカー)

- ・ 他職種と連携出来てよかった。／他職種の意見を聞いてよかった。

(リハビリスタッフ)

- ・ 他職種の方々の考えを聞いて、気付かされた点が多かった。
- ・ ファシリテーターの方をあらかじめ決められていたので良かった。

(介護支援専門員)

- ・ 多職種の方と事例を通じて意見交換ができた。
- ・ 多職種の意見を直に聞くことができてよかった。
- ・ 今まで研修で一緒にならなかった方々と顔見知りになれました。
- ・ 医師、歯科医師、薬剤師、SWの方から、具体的な意見を聞いたのが参考になりました。
- ・ 松尾先生のベッド数や高齢者数を出していただいた点が、今後に対してあらためて考えるきっかけになりました。
- ・ 色々な職種の方の考え方、知識が得られ大変参考になった。
- ・ 医師の立場での難しさや困難さ、他職種の方々と様々なサービスの事例も含めて聞いた事が良かった。
- ・ 医師、歯科医師の方と色々な情報交換を行う機会が少ないので、とても役に立ちました。
- ・ 別の視点で見ることが出来ました。
- ・ それぞれの専門的な視点での意見が聞けるのでとても参考になる。

(管理者/事務)

- ・ 医療職と同席できてよかった。
- ・ 事前にファシリテーターが決まっていたので役割決め(発表・書記)がすんなりと決まって良かった。いつもはここで時間を取られる。グループワークの時間も余裕があつてよかった。

(職種不明)

- ・ 他職種の方との関わりができ良かった。

(4-2) 本日の研修会で、改善した方がよい点についてお聞かせ下さい。

(医師)

- ・ 初回で進行の方法がわからなかった。

(歯科医師)

- ・ 発表は全グループしてほしい。
- ・ 話し合いの時間が短い。
- ・ 詳しい資料を事前配布してほしい。

(薬剤師)

- ・ 事例紹介での情報がもう少し詳しいとより踏み込んだ支援の提案ができると思います。
(薬剤師の立場から、服薬中の薬剤の内容等)
- ・ KJ法の説明が少なかった。

(看護師)

- ・ 1グループの発表でよかった。
- ・ ヘルパーステーションも参加されたらよいと思う。

(社会福祉士)

- ・ 時間配分の見直し

(介護支援専門員)

- ・ 毎回メンバーの入替を行ってみてはいかがだろうか。ケアマネや施設の方ではなく、別の職種(デイ、ヘルパー、OT、PT等)も参加できるようにしてもらいたい。
- ・ それぞれの立場での意見が聞けた事、事例発表あとにディスカッションがあり進めやすかった。

(5) 在宅医療・介護を行っている他の職種の方に伺いたいことはありますか？

(医師)

- ・ 限られた時間内での仕事ではあるが、医療も介護も別々のものではない。いつも同時に考えなければならぬと思う。絶えず横の連携が大切！！
- ・ リーダシップを誰が取るのか、1例ずつ決まればやり易い。
- ・ 歯科保険にて訪問看護や訪問リハビリへの指示ができるのか？(歯科保険にて算定が出来るか？)

(歯科医師)

- ・ 回数を経て、徐々に知り合いも増えてきてこれから良い方向へ進めばよいと思う。
- ・ たくさんありますので、機会を増やしてください。

(歯科衛生士)

- ・ 歯科治療の必要性や機能向上を含めたケアの必要性のアセスメント、他の職種の方はどのような方法を取られていますか？

(薬剤師)

- ・ 患者ごとに受けられるサービスの違いについて詳しく知りたい。
- ・ 現在の在宅医療を行っている経験談を聞きたい。
- ・ 薬剤師、薬局が介入することについてどう思われますか？
- ・ 今までの事例を多く伺いたい。

(看護師)

- ・ 専門職種の活動内容が知りたい。
- ・ 病院との連携や相談はしやすいですか？
- ・ 在宅で受けられる社会資源
- ・ 歯科との関わり方があまりわからないのもっと知りたい。
- ・ ヘルパー事業所の方

(介護支援専門員)

- ・ サービス導入までの流れがよくわからないので教えていただきたい。
- ・ 各職種が行っている詳しい内容を聞きたい(質疑応答形式)
- ・ 通所事業所の方やヘルパー等のご意見も伺えると良いのではと思いました。
- ・ 歯科医、薬剤師の方との連携方法
- ・ 在宅に携わっている栄養士の活動について聞きたい。

(保健師)

- ・ 市の医療・介護の職種が、上下関係なく意見を言い合える関係作りのため、どうしたらできるのか本当にできるのか。

(その他)

- ・ 困っている事

(6) 今後の業務や地域連携・多職種連携に役立ちそうですか？

- ① 役立つ 51名(86%) ② わからない 3名(5%) ③ あまり役立たない 0名 ・無回答 5名(9%)

(7) 今後も研修会や講演会を予定しておりますが、今後の運営に関する要望や、研修会等で企画してほしい取り組み・内容がございましたらご記入ください。

(医師)

- ・ 今後は在宅拒否が問題となってくるのでは。
- ・ 1度は職種別にグループ分けしても良いかもしれません。
- ・ 都市部と郡部での違いがあり、中々上手くいくかどうか分からないが、2025年に向けてまた、それ以上の年に向けて、しっかりとやっていくことが必要！！

(薬剤師)

- ・ 話し合いの場(時間)をもっと増やして欲しい。
- ・ また別の症例検討会の実践。
- ・ 定期的なグループワークを行ってほしい。
- ・ 事例をもとにグループワークをもっと経験していきたい。

(看護師)

- ・ 地域住民とのコラボレーション。
- ・ 困難事例等への関わり／困難事例等を話し合う機会も必要では。
- ・ 在宅看取りについて。

(介護支援専門員)

- ・ やはり事例検討を通じて顔見知りになるを繰り返す事ではないかと思えます。
- ・ 今回のような独居に対するアプローチ、セーフティーネット等介護力がない方へのシステム作り、他市町村などの取り組み等。
- ・ グループワークは毎回行くと、意見の理解が深まると思えます。

(保健師)

- ・ 柳川・みやまで講演会やシンポジウム等を企画して実施してみたい。
- ・ 認知症の方への支援、一人暮らし、家族関係が上手く行っていない事例。

(8) 全体を通しての感想をご自由にご記入ください。

- ・ 皆さんが協力的であったことは希望がある。チームワークが出来る将来の可能性に繋がる。
- ・ 少しずつ溶け込めています。
- ・ 時間がある限り、このような研修会をもっともっとやるべきであり、行政の人達にイニシアティブを取って欲しい。
- ・ 時間が足りない。
- ・ サービス担当者全体の方が、患者さんの思い、価値観を共有することで、高齢者にとって快適で大切にされていると実感できるケアが出来ると思えます。
- ・ 良い会合であったと思えます。／とても良かったです。／大変良かったです。次回も参加を希望します。色々な意見が聞けて良かった。／それぞれの職種での意見がたくさん出て有意義な研修会でした。様々な職種の方の意見を聞くことができ大変勉強になりました。／参加して良かったです。
- ・ より実践的な症例を用いた研修会で勉強になりました。
- ・ 知らないこともあり刺激になります。顔を合わせることも重要だと思いました。
- ・ 地域医療構想や、柳川・みやま・大牟田の現状を知ることが出来て勉強になりました。
- ・ 柳川の包括ケアシステムが具体的にどう進んでいくのだろうと常々考えます。
- ・ 現実的に、在宅で高齢化を迎える事に大きな不安を感じました。
- ・ 勉強不足なことばかりで、こういう研修に参加でき、色々な視点からみれるようにと思いました。
- ・ 医療・介護についての力を感じました。今後も参加したいと思えます。
- ・ 今まで、このような研修に参加して、顔見知りになり話しやすくなった。